

単元名

大雨や土砂災害から自分の身を守ろう！
～どのような行動をすればよいか調べて、発信しよう～

単元目標

大雨や土砂災害の被害や、命を守る取り組みを理解すると同時に、自分の地域で起こった災害や、災害が起きたときの行動の仕方について調べることを通して、いざというとき自分がどのように命を守ればよいか、考えることができるようにする。

フローチャート

(全24時間)

※○数字=時間数

1. 理科の学習の発展（5年生「流れる水の働き」等）や、大雨や土砂災害の写真の資料から、「学ぼう BOSAI 命を守るチカラ 大雨・土砂災害に備える」(scene 1)を視聴し、気付いたことや疑問に思ったことを話し合う。

2

道がほとんど水浸しになっていて、外に出られない。こういう水は自然になくなるのかな。

大雨や土砂災害の被害は、自分たちの住む地域でも起こったことがあったのかな。

2. 地域であった大雨、土砂災害による被害を調べ、その後、まちの復旧について、「学ぼう BOSAI 命を守るチカラ 大雨・土砂災害に備える」(scene 2～8)を視聴して理解する。

4

前に近くのA川が氾濫したことがあるって、聞いたことがあるよ。調べてみよう。

TEC-FORCE が夜も働いてくれたから、まちが復旧したんだ。いろいろな研究も進んでいるね。

3. 「学ぼう BOSAI 命を守るチカラ 大雨・土砂災害に備える」(scene 9)を視聴し、自分たちの行動の仕方について考える。

2

地域でも被害があったことが分かったよね。いざというとき、どう行動すればよいのかな。

正しい行動をとり、自分の身を自分で守ることが大切だと分かった。具体的に調べたい。

4. 大雨・土砂災害から自分の身を守るためにどのように行動すればよいか調べ、ポスターで発信する計画を立てる。

4

消防署や消防団の人に、災害のときにどう行動すればよいかインタビューしたい。

調べたらポスターを作って、フェスティバルで学校や地域の人に見てもらいたいな。

5. 地域の消防署、消防団の方々から話を聞き、ポスターを作る。

8

大雨のときは、絶対危ない場所に近づいたらだめ、と教えてもらったからそれを伝えたい。

普段から、どこが安全か、どこが危険かを知っておくことが大切だって。それを発信しよう。

6. 大雨や土砂災害から自分の身を守るためのポスターを作り、地域に向けて発信し、反応をもらって振り返りをする。

4

本時の目標（第 8 時間目 / 全 24 時間）

映像資料をもとに災害にどのように備えればよいかを理解し、災害に対する意識を高めるとともに、記事や写真から正しい行動をとることの大切さに気づき、今の自分たちの行動を振り返ったり、自分たちにできることについて考えたりすることができる。

主な学習活動	指導上の留意点
<p>1. 前時にまとめた地図使って、自分たちの住む地域で起こった大雨や土砂災害の被害を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学区にあるA川は、○年前に氾濫したんだっけ。また、いつそういう災害があるか分からないよね。」 ・「さらに調べたのですが、隣の駅では、土砂災害があったそうです。」 ・「近い場所で、いろいろな被害があったね。また災害があったとき、どのように行動したらよいかね。」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>大雨や土砂災害が起きたとき、自分たちはどのように行動したらよいかね？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○前時まで話し合った内容が分かる掲示物を教室に掲示し、見ながら確認できるようにしておく。 ○さらに調べてきたことがあった場合は、地図に印をつけてまとめておく。
<p>2. 「学ぼう BOSAI 命を守るチカラ 大雨・土砂災害に備える」(scene9) を視聴し、感想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「避難経路、逃げる場所は覚えておくといいね。」 ・「災害のとき、自分の身を自分で守ることが大切だよ。」 ・「危険な場所を確認することも大事だよ。みんなで作った地図を活用したいな。」 <p>・大雨のときは、川や崖に近づかない。自分の身を自分で守る行動をとることが大切だね。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○番組映像を、「自分たちはどのように行動したらよいか」ということを視点にメモを取りながら見られるようにする。 ○番組映像を視聴し、どのように行動すればよいかを板書する。 ○「自分の身を自分で守る行動」に着目した子どもの発言を黒板の中心に書いたり、大きく書いたりすることで、全体の問題として共有できるようにする。
<p>3. 災害が起きたときの人々の行動を扱った新聞記事や写真を取り上げ、自分の身を守るための行動をとる大切さを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「命を守ろうとしている人がいる一方で、こういう行動をとってしまう人達もいるんだね。自分はどうかな。」 ・「学ぼう BOSAI に出てくる人の思いや行動と、記事で取り上げている人の行動を対比させて、今の自分の立ち位置を考えてみよう。」 ・「自分で身を守る行動をとらなければならないね。分かったことをみんなに伝えたい。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○増水する川の近くで、携帯のカメラで写真を撮る人のことを書いた記事や写真、消防団の人から聞いた問題点を取り上げて提示する。 ○記事に書かれている人達の行動と、学ぼう BOSAI に出てくる人の思いや行動を付箋に書き、ワークシートで両者を対比すると同時に、自分の立ち位置を確認する。 ○ワークシートをもとに、これからどのような行動をとるべきかを考えられるようにする。
<p>4. 自分の身を守るために、どのように行動すればよいか調べて、発信するための計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「消防署や消防団の人から話を聞いて、災害の時の行動について調べたい。自分にも生かせると思う。」 ・「ポスターにして、地域に発信したらどうかな。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○どのような形で、誰に対して発信するかを決め、計画を立てられるようにする。 ○学ぼう BOSAI や、これまでの経験をもとにして、取材先を考えられるようにする。